



2021年4月27日

各 位

会社名 神姫バス株式会社
代表者名 代表取締役社長 長尾 真
(コード番号: 9083 東証第2部)
問合せ先 取締役経営企画部長 小林 健一
(TEL: 079-223-1243)

特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年3月期決算において、特別損失として固定資産の減損損失を計上する見込みとなりました。併せて、2021年1月29日に公表しました2021年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上について

当社は、2021年3月期の第4四半期連結会計期間において、当社および連結子会社が保有する固定資産（旅行貸切業車両、レジャーサービス業飲食店舗ほか）について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等を勘案し、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失393百万円を特別損失に計上する見込みとなりました。

なお、連結累計期間では、減損損失468百万円を特別損失に計上する見込みとなりました。

2. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	35,300	△2,940	△2,060	△2,320	△385.27
今回修正予想 (B)	35,670	△2,270	△1,315	△2,170	△360.35
増減額 (B-A)	370	670	745	150	—
増減率 (%)	1.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	45,076	2,043	2,224	993	164.99

(2) 修正の理由

新型コロナウイルス感染症第3波の到来に伴う外出自粛と2021年1月7日に再発令されました緊急事態宣言により、再び当社グループの業績及び財政状態に多大な悪影響を及ぼす事態となったことから通期連結業績予想を下方修正いたしました。しかしながら、緊急事態宣言慣れによる外出抑制効果の低下、加えて宣言の延長も織込んでいましたが、関西圏においては首都圏に比べ2週間程度早く宣言解除されたこともあり、売上高、営業利益並びに経常利益は想定したほどの落ち込みには至らず予想を上回る見込みとなりました。

以上により2021年3月期通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

※上記の予想は、本資料発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上